

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	療育センター アルテ 2 n d		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年3月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年3月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学校教員や中学校教員の経験のある職員が在籍している事。	・教員免許や経験のある職員が学習支援を行う事で、お子様がどこまで理解出来ているのかしっかりと見る事が出来る。また、単元の進み方がわかるので今後どのような力が必要かも知る事が出来る。 ・教員目線のみならず支援の目線もしっかりと取り入れ、お子様にあった支援の方法を常に検討、実践している。	・さらにお子様ひとりひとりに合った支援を提供していけるよう、学校とも連携を強め、お子様が自信をもって学校生活を楽しめるように体制を整えていきたい。
2	・職員が「一緒に活動し一緒に遊び込む」姿勢を大切に、お子様としっかりと安定した関わりを行っている事。	・お子様が安心して療育を受け、力を伸ばしていけるために、職員がお子様の好きな事や初めて挑戦する事に同じ目線で一緒に参加し、関係性をしっかりと作っていく事を大切にしている。 ・しっかりとお子様と関わっていく事で、お子様の小さな変化に気づく事も出来る。	・事業所での仲間や職員と一緒に様々な経験をし、お子様の可能性を広げていける活動に取り組み続けていきたい。
3	・ご家族様や関係機関の方との連携を取りながら、お子様に関わる皆様で成長を見守っていくサポートを行っている事。	・会社の理念でもある3つの力を合わせる「協育」の視点を大切にしているため、お子様の成長と一緒に喜び、ご家族様やお子様の悩みに一緒に考え笑顔に繋げる支援を心掛けている。	・新体制になり、まだお話をしっかりと出来ていないご家族様もいらっしゃるので、積極的にお子様の成長していく姿をお伝えしながら、どんな小さなことでも相談しやすい環境を作っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・新体制になり、様々な場面で準備不足があったり、体制作りに試行錯誤の毎日が続いている。	・昨年末に統合という大きな変化があり、職員も初めての経験で対応に苦戦している所がある。	・会社ともしっかり話し合いながら、当事業所をご利用頂いている方々や関わる方々に安心して頂けるよう、1日も早く様々な場面での体制を整えていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 療育センター アルテ２ｎｄ

公表日 令和7年4月1日

利用児童数 令和7年4月1日 63名

回収数 14名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	7	・子供から広いスペースで遊べて楽しいと聞いています。 ・事業所が、活発な小学生たち10人が活動できるスペースなのか謎	ご意見ありがとうございます。子どもたちひとりひとりが十分なスペースを活用していけるように心掛けて日々のプログラムを作成しております。室内の環境設定にも日々職員間で話し合いながら安全で快適な室内づくりを大切にしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	6	・以前からの先生なので安心していきます。 ・はい ・職員数が不明	ご意見ありがとうございます。新体制になってから職員のご紹介が出来ておらず、大変申し訳ございません。新年度開始と共に保護者の方々へ職員紹介のお知らせを配付予定としております。お手元に届きましたら、ご確認頂けますと幸いです。また、子どもたちが安全に過ごせるよう、職員体制もしっかりと配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	7	0	0	7	・見学していないので分かりません。 ・はい	ご意見ありがとうございます。アルテ２ｎｄをご利用の子どもたちが安心して情報を得ながら、自分の力でやってみようと思える環境づくりを常に目指しております。混乱がないよう、視覚的な表示はどこまで行うか、どのように行うのか、環境設定はどのようにしていくのかと常に話し合い、改善に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	3	0	5	・トイレが2つ有事が安心だと聞いています ・靴下が汚れて帰ってくる事があります。 ・上記と同様	ご意見ありがとうございます。トイレは2つ配置している為、お子様に合わせて使用しております。また少しでもトイレや排泄のマイナスイメージを減していくために、明るい雰囲気づくりも大切にしております。靴下が汚れて帰ってくる件に関しては、大変申し訳ございません。日々、業者さんを入れたり日々の清掃を徹底しているのですが、活動によっては足裏が黒くなってしまう事もあります。引き続き、しっかりと清掃を行ってまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	1	・安心して利用してます、段々と遅れている所が改善されていると思います。 ・個人課題が宿題のみになっているので、子供の苦手な分野も支援して欲しい。	ご意見ありがとうございます。私たちの日々の活動とお子様の頑張りで、改善や成長が見られているとの事でとても嬉しく思います。引き続き、アルテ２ndのお子様の成長に繋がる療育を提供してまいります。個別課題が宿題のみになっている件に関しまして、ご意見ありがとうございます。私たちの学習支援で大切にしている事は「宿題が出来る事」ではなく、宿題を通してお子様の苦手や得意を見つけ出し「学校生活に自信を持って楽しんで通える事」です。引き続き、お子様としっかりと関わりながら必要な支援方法を見つけ出し、お子様自身の前向きな気持ちを引き出す為の支援を行ってまいります。私たちはデイでの様子しか見られないので、もしご家庭や学校等で気になる点やそれを踏まえて支援を受けたい点等がございましたら、お気軽に教えて頂きますと幸いです。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	2	・上記と同様	ご意見ありがとうございます。支援プログラムは現在、アルテ２ndの室内（玄関の所）に常に掲示をしております。ＨＰが完成し次第、ＨＰでも掲載予定ですので、ご確認しやすい方法で確認して頂きますと幸いです。よろしく願いたします。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2	0	1	・家族の要望を聞き入れられていると思います	ご意見ありがとうございます。いつもご利用者の皆様からお子様の支援についてやご家族様の事についてなど、お話し頂きありがとうございます。私たちも出来る範囲でお子様のみでなく、ご家族様と一緒にご相談していきながら必要な支援を提供していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	10	・療育以外の日は家で過ごしています。	ご意見ありがとうございます。近隣の公園で地域のお友達と一緒に活動をさせて頂いたり、長期休暇には地域のお店にお買い物の練習へ行ったりと様々な活動の中で地域のお友達との関わりを楽しむ事が出来ていると感じております。引き続き、活動を通して交流を増やしていきたいと思っております。また、学年が上がって心が成長してくると交流自体を拒むお子様も出てきますので、しっかりと寄り添いながら実施の方法を検討して参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1	1	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10	3	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	2	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	1	1	・迅速ではない	ご意見をありがとうございます。この度は迅速に対応出来ておらず、申し訳ございませんでした。基本的にはお問い合わせ等があれば迅速な対応を心掛けていますが、至らぬ点もあったと思いますので、今後も引き続き迅速な対応を心掛けていきたいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	0	5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	1	1	・子供から聞いたことないのでわからない	ご意見ありがとうございます。統合した事によりお子様にもご家族様にもご不便やご負担をお掛けしたと思います。しっかりと日々の関わりの時間を大切にしながら、安心して通って頂けるように職員一同が一丸となって様々な取り組みを行って行きたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	3	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	3	1	0	①利用回数が少なく、事業所の場所が変わってから利用をしてないので、『分からない』という回答が多くなってしまいました。 ②長期休暇の開始時間が遅いので午前中に保護者の用事が出来ない。 ③新体制になって忙しいのかもしれませんが、先生紹介もなく（先生側は子供たちのことがわかって、こちらの情報も、保護者は、どんな先生方がいらっしゃるのか知りたいです）普段のミスが目立つように思っています。体制もコロコロ変わるし混乱しています。 ④方針がかわりすぎる所	ご意見ありがとうございます。 ①ご利用回数が少ない中、ご回答いただきありがとうございます。ご不明点等ございましたら、いつでも事業所にお気軽にご連絡をください。 ②この度は統合により開始時間が以前より遅くなり申し訳ありません。11:30にはお子様が事業所で療育をスタートできるようお迎えに行かせて頂いておりますが、どうしてもご都合が難しい場合はご相談頂けますと幸いです。 ③この度は統合後のご案内が充分に出来ておらず大変申し訳ございません。また、こちらのミスもあり色々な面でご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。今後は同じ事が起きないよう気を引き締めて努めてまいります。また、職員紹介につきましては新年度開始時にお配りさせていただきますので、ご確認頂けますと幸いです。 ④この度は、方針の変更についてご迷惑をお掛けし、大変申し訳ございません。引き続き、ご利用頂いているお子様やご家族様が安心して過ごせるよう精一杯努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日			
療育センター アルテ2nd		2025年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・子どもたちが過ごしやすいよう、活動に合わせて環境設定を行うなど、日頃から職員間で話し合って実行している。 ・ロッカーの位置を児童の活動スペースと異なる場所に配置したり、椅子や机の配置を児童が活動するスペースを確保する為に調整するなどの工夫は行っていると考える。	・20名定員になると現状の学習室や教室の広さだと療育が難しい。 ・一方でフロア内における物理的な収容量の限界があると感じる。20人体制になった際の長期休暇期間における昼食時の椅子と机の数が不足する問題がありつつも、椅子と机を増加する事で児童たちの活動スペースが狭くなる問題に行き当たる恐れがある。より効率的な空間の使い方について模索し改善していく必要がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・制度的には問題はないが、実際の支援をしている中でもっと手厚く人が欲しいと思う場面と人がいたら活動の幅を広げられると感じる場面がある。 ・送迎で職員が外に出ている場合や、当日欠勤が出た際の適切な職員配置の体制がとれない。 ・送迎時など不足を感じる時がある。 ・管理者が現場に入らないという前提で常に人員的な余裕が無く、1対1での対応が必要な時に対応出来ない場面がある。送迎に職員が出ている際にはより顕著にこの傾向が見られ、職員2でフロアを回す職員1、療育に入る職員1で児童6～7を見る事もあるため常に児童の状態を十全に把握する事は難しいと感じている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・子どもたちの成長や発達段階に合わせて、過ごしやすい環境作りを心がけている。 ・もう少し子供達にとって過ごしやすい環境を整えていきたい。 ・既存の児童が把握出来る程度には配慮されているが、新規児童が入ってきた際には不十分な配慮だと感じる。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・職員が分担し、清掃活動を行っている。施設内だけでなく、施設の周りも意識し綺麗を保つようにしている。 ・毎日床掃除とトイレ掃除を行い、月始めには支援者全員で床を拭く入念な掃除も取り入れている。	・机の高さ、台数等子どもたちが支障なく活動できるよう増やしていきたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・クールダウンが必要なお子様や休養が必要な場合には、空間を仕切って使用するようになっている。 ・子供がクールダウンできるスペースが確保されている。 ・休憩室や課題室を適宜使用して子どもたちが個別の場所を使えるようにしている。	

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		・目標設定や各児童たちの申し送りの時間が少ない為、業務の効率化をしていきたい。 ・毎日のレクリエーションや業務に目標を設定し、同日や翌日に振り返る事で業務改善を行おうとすることはあるが、レクリエーションの振り返りは送迎等業務の関係で職員全体が参加している状況は少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・実際のお声を知ることができ、次への課題や目標が見えるので、よりよい改善に繋がるよう意識している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・支援方法や細やかな部分まで職員間で意見を出し合い、改善に務めていると思う。 ・毎日朝礼で意見できる環境が作られています。	・日々子どもたちが過ごす環境設定について支援者間で意見を出し合い、その時にとれる最善を考える中で内容を良くし業務改善が行われているが、時間がかかる工程でもあるため業務量が増加するにつれてより端的に密な意見交換を行う必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			外部評価を行っていない為。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		・研修機会はあるものの現在の業務内容的に現場を円滑に回す事に精一杯で参加が現実的ではない。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・週ごとに何か狙いをもってプログラムを作成するようにしている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	・保護者様や児童たちのニーズに合わせて計画を作成して、各スタッフにしっかり共有されています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		・子どもたちに関わる事項については日々必ず共有されており、子どもたちの体験がより有意義になるように配慮されているが、専門的な支援は現状だと難しい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・各児童の計画に沿った関わり方や、支援内容を日々の朝礼で行っています。	・個別支援計画は確認している一方で、どんな支援計画が立てられている児童でも平日には計画と離れた支援(特に宿題内容の学習支援)を中心に行っていることが多い。レクリエーションやフロア内外での活動において支援計画に沿った内容を職員が適切に認識し子どもたちと遊ぶ中で計画に沿った支援を行っていく必要がある。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・児童が学習、活動しやすくする為に改善点等話し合うようにしています。	・それを行う時間が不足している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・日々の活動プログラムをチームで立案し、各職員に共有するように心掛けています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・固定化しないよう週ごとに狙いを変えてその日の児童に合ったプログラムを計画するようにしています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援開始前に各児童の振り返りや注意する事等の打ち合わせを行い、連携できる環境が作られています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・改めて会を設けてはいないが、児童降所後に必要な事例や連絡事項があれば都度共有や検討を行い、全員が現状を把握し次の支援に繋がるように取り組んでいる。 ・気づきや反省点を振り返るよう心掛けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		・現状、記録が取れていない為早急に業務改善を行い記録が取れる時間を確保していきたい。 ・時間が不足している。 ・児童たちの日々の記録が少なく、より綿密に書いていけるよう業務内容の改善が必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・自分で遊びを選択できるプログラムや児童たちで話し合いを行い意見を相手に伝える機会を作る活動を行っています。 ・活動の中での話し合いや、選択遊びなどを取り入れ工夫していると考えます。	

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・トラブルが起こらないよう保護者様や学校と連携をとるようにしている。	・連絡調整についてはトラブル発生時に対策がしっかりと行われ、業務は改善されて行っていると感じる。学校との情報共有は児童によって量に差があると感じている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・必要に応じて対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・必要に応じて対応している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・地域の交流する機会を増やしていきたいです。 ・公園での活動の際に突発的に機会が訪れることはあるが、支援者から能動的に地域の他の児童と交流する機会を設けたことはない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	・送迎時、児童の情報交換をし各職員に共有するようにしています。 ・子どもの良い所についての共有はされているが、そうでない所の共有の頻度は低いと感じる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・お便りなどでお知らせしている。個別で必要とされる方には対応をしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		・こども達やそのご家族の意向を確認してより良い環境を構築していく必要があると感じている一方で、職員の許容量を超えての活動が多く理想と離れてしまっていると感じている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・定期的に面談を行い、保護者様と情報の交換や助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	・年に一回クリスマス会で保護者同士が交流できる機会が作られている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月おたよりを発行している。 ・ネット配信で児童の様子を細かく記載したり分かりやすく写真を掲載して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・定期的に緊急時等の訓練を行っていきたい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・日々の朝礼で服薬やてんかん等がある児童について状況を把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・食物アレルギーについては留意しているが、医師の指示書に基づいているのかを把握していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットや事故が起きた際は、必ず朝礼で共有するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	5	0		
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・対象の児童がいない為。	